

空時間

御津中・2 平野 成美

買い物を終えて店を出たとき

ふと空を見上げた

そこには

うすい橙の雲が

美しいうす紫を泳いでいた

あの気高い燃える星が

恋人に別れを告げるとき

綺麗に笑うように

輝いて見えた

時が

過ぎた

空は夜の世界を迎えた

月は

燃える星の輝きを

受けて

切なくほえんだ

また時が

過ぎた

燃える星が一日の始まりを告げ

世界は

彼の輝きによって

彩られる

水面は

きらきらと輝き

澄んだ空気が

世界をめぐる

彼の登場の賛美のように

空が好き

様々な表情を

私に届けてくれるから

いちばん好きなのは

あの気高く燃える星が

世界に別れを告げたあと

姿は見えないのに

光は月が受けて分かる

いるようで

いない

いないようで

いる

そのあいまいさがとても綺麗だと知っている

から